

けいそうどペイント
ビニールクロス改修
施工要領書
(ローラー工法)

けいそうどペイント ビニールクロス改修 施工要領（ローラー工法）

クロスの種類と確認方法

クロスの種類

- ・水を通さないビニールクロスに限ります。
- ※ 撥水クロスや落書き防止クロス、布クロスや紙クロスには施工できません。
- ※ ビニールクロスであっても水を通すものがありますが、その場合は施工できません。ご注意ください。

クロスの確認方法

- ・コンセントのカバーに隠れた部分などの目立たない部分のクロスを切り取り、燃やしてみてください。黒い煙を発生し、異臭(塩化ビニール製品の燃焼時の臭い)を伴い熱収縮するものがビニールクロスです。
- ※ 上記の方法でクロスの種類を確認する場合は周囲に充分配慮し、換気の良い場所で行ってください。
- ・コンセントのカバーに隠れた部分などの目立たない部分のクロスを切り取り、水を通さないことを確認してください。
- ・水を通すクロスの場合は、全面のクロスを裏打ち紙も含めて剥がしてください。
- ・ビニールクロス以外の場合は、全面のクロスを裏打ち紙も含めて剥がしてください。

処理方法

- ・ビニールクロスの浮き・はがれがある場合は、その部分を少し大きめにカットして裏打ち紙も含めて除去し、樹脂系パテで不陸調整してください。
- ※ 標準仕様は樹脂系パテとなります。平滑度を保つことができ、かつ耐水性のあるものを使用してください。
- ※ パテ処理部分は、クロス部分と肌が異なります。
- ・ホコリや汚れ、その他の付着物は清掃・除去し、充分乾燥させてください。

養生

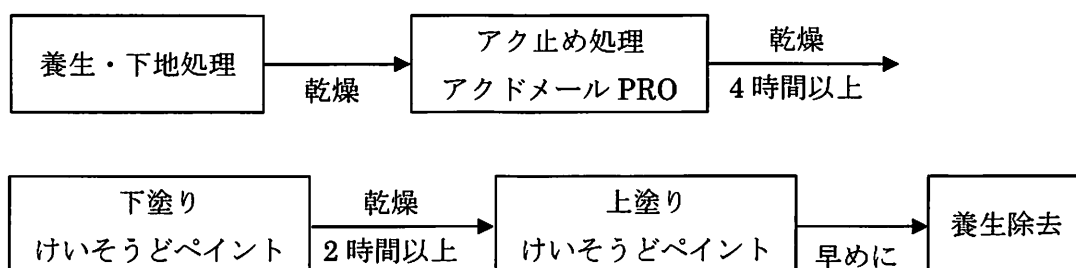
- ・施工面以外に材料が付着しないように養生テープ・ビニール等で十分に養生してください。
- ・ペイント塗装面等は、粘着力の小さなテープで捨貼りして養生してください。

材料の調整

- ・下塗り及び上塗りに使用するけいそうどペイントは、適量の水を加え、ハンドミキサー等で十分に攪拌して使用してください。

施工

ローラー工法



① アク止め処理

- ・アクドメール PRO の原液を、中毛ウールローラー等で均一に塗布してください。
(所要量：1回塗り 90 g/m²)
- ・4時間以上乾燥後、次工程に移ってください。(20℃・湿度 50%を想定)

② 下・上塗り

- ・調整したけいそうどペイントを、中毛ウールローラー等で均一に塗布してください。
(所要量：2回塗り 0.4 kg/m²)

《 標準仕様 》

ローラー工法

工程	材料	調合 (重量比)	所要量	塗り 回数	間 隔 時 間(h) ※2		
					工程内	工程間	最終養生
1	アクドメールPRO	既調合	90 g/m ²	1		4以上	
2	下塗り	けいそうどペイント	6 kg	1	2以上		
		清 水	0~0.07 L※1				
3	上塗り	けいそうどペイント	6 kg	1			24以上
		清 水	0~0.07 L※1				

※1 18 kg/缶の場合の清水量は 0~0.2L

※2 工程間間隔は、標準時 (20℃・50%) を想定。

使用材料

※ ()内の数字は1缶あたりの施工面積です

- ・アクドメールPRO … 1 kg/ポリ瓶 (11.0 m²)、4 kg/ポリ缶 (44.0 m²)
- ・けいそうどペイント … 6 kg/ポリ缶 (15.0 m²)、18 kg/缶 (45.0 m²)

注意事項

- ・本仕様は、一般的なビニールクロスの改修方法を記載しています。
- ・本仕様は、下地の不陸を目立たなくする工法ではありません。
- ・施工時の気温が5℃以下、湿度が85%以上、結露が考えられる場合は施工しないでください。
- ・クロスの凹凸の程度により、所要量が前後する場合があります。
- ・材料は凍結、直射日光を避けて保管してください。
- ・使用した器具は乾燥しないうちに水洗いしてください。

《 下地等に関する注意 》

- ・下地は十分に乾燥していることが必要です。表面の弱い下地は下塗り材等で補強してください。
- ・カビが発生している場合は、カビウォッシュ SP を塗布してください。
- ・錆の出る恐れのある箇所には錆止めをしてください。
- ・下地の汚れは完全に除去してください。